

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	交通安全施設等整備事業（交差点改良）					
地区名	主要地方道 岡崎半田線					
事業箇所	安城市大岡町					
事業のあらまし	本路線は安城市と岡崎市の中心市街地を結ぶ幹線道路であり、大岡町荒古交差点は朝夕慢性的な渋滞地帯である。交差道路である一般県道安城桜井線は、近年の改良で交通量が増し、危険度がさらに増すことが予想されるため、信号交差点での自転車歩行者道設置及び右折車線設置などの交差点改良を行うことにより、見通しの確保、歩車の分離及び円滑な右左折を図り、渋滞の解消及び交差点事故の軽減を図る。					
事業目標	【達成（主要）目標】 右折車線及び自転車歩行者道設置を行い、交通の円滑化と歩行者等の安全確保を図る。 【副次目標】 -					
事業費	事業費	内訳				
	4.64 億円	□工事費 1.05 億円、□用補費 3.32 億円、□その他 0.27 億円				
事業期間	採択年度	平成 15 年度	着工年度	平成 15 年度	完成年度	平成 21 年度
事業内容	交差点改良 L=250m					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	【達成状況】 右折車線及び自転車歩行者道設置を行った。 【達成状況に対する評価】 ① 事業実施前（H10～H14）と事業実施後（H21～H24）の交通事故の発生状況を比較すると、「年平均死傷事故件数」は、3.0 件から 2.3 件へと 23%減少したが、追突事故や右左折時の事故が散発している。 ② 右折帯設置により交差点部の車両の滞留が無くなり渋滞が解消された。 ③ 自転車歩行者道の整備により、安全な歩行空間が確保された。 交差点改良により交通の円滑化及び死傷事故が減少し、目標が概ね達成できた。				
	2) 副次目標の達成状況	【達成状況】 - 【達成状況に対する評価】 -				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	主要目標は達成しており、今後の事業評価の必要性は認められない。					
改善措置の必要性	特になし					
同種事業に反映すべき事項	事故件数は減少しているものの、事業実施後も年平均死傷事故件数 2.3 件（H21-24）発生しており、追突事故、右左折時の自転車等との事故が散発している。このため、経過観察・事故原因分析を実施し、同様の事故が多発するようであれば、必要に応じて運転手への注意喚起等の対策を取る必要があると考える。					